

とくてん

じゅけんばんごう	なまえ

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょう
ぎのうひょうかしけん

ひかねつせいすいさんかこうしょくひん
せいぞうぎょう

はっこうしょくひんせいぞう

せんもんきゅう

がっかしけん

【きょうつう もんだい】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. すいさんかこうじょうでは、げんりょうからせいひんまで
えいせいかんりをおこなうことがたいせつである。

○	×
✓	

2. すいさんかこうじょうでは、かんたんなさぎょうのときは、
さぎょういをきなくてもよい。

○	×
	✓

3. げんりょうぎょかいそうるいのしよりは、ていおんと
たんじかんでえいせいてきにおこなう。

○	×
✓	

4. いわしは、あかみのさかなである。

○	×
✓	

5. かいそうは、かこうげんりょうにならない。

○	×
	✓

6. あかみのさかなは、しろみのさかなにくらべて、きんにく
ぜんたいにしめるちあいにくのわりあいがすくない。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

7. ぶたにくにすくなく、ぎょにくにおおいえいようせいぶんがある。

○	×
✓	

8. さかなのしゅるいによってせんどがわるくなるはやさがちがう。

○	×
✓	

9. せんどていかしたさかなをこおりにつければせんどがよくなる。

○	×
	✓

10. さかなのにくはすいぶんがおおくやわらかいのでくさりにくい。

○	×
	✓

11. じこしょうかこうそは、きんにくやないぞうにふくまれている。

○	×
✓	

12. みじかいじかんですばやくとうけつすることを、きゅうそくとうけつという。

○	×
✓	

13. さかなをとうけつしてからほかんすることをちるとちよぞうという。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

14. ぎょかいそうるいは、ていおんちょぞうやだっすい、
かねつしよりをする とほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

15. しょくひんにしおをいれるとすいぶんかっせいがたかくなり、
ほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

16. すいさんかこうしょくひんのひんしつがわるくなるげんいん
には、おんどやさんそなどのかんきょうとしょくひんの
すいぶんかっせいなどがある。

○	×
✓	

17. すいさんかこうしょくひんに、みそやししょうゆをつかった
せいひんはない。

○	×
	✓

18. ぎょにくはかんそうすると、すいぶんかっせいがていかして、
ほぞんせいがよくなる。

○	×
✓	

19. さかなのあたまをきりとり、ひらきにするきかいを、
ぎょたいしよりきという。

○	×
✓	

20. すいさんかこうしょくひんは、ほうそうきをつかうことが
できない。

○	×
	✓

【はっこうしょくひんせいぞう】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. しょくひんがびせいぶつなどのさようでこのましい
あじになることをはっこうという。

○	×
✓	

2. しょくひんをちょぞうして、おいしくすることを
じゅくせいという。

○	×
✓	

3. ぎょかいそうるいはっこうは、しつおんよりたかい
おんどでおこなう。

○	×
	✓

4. しおからをつくるときにつかうしおは、せいひんをくさり
にくくする。

○	×
✓	

5. いかしおからは、いかをよくかんそうしてつくる。

○	×
	✓

6. かつおのしおからは、すべてのないぞうをつかってつくる。

○	×
	✓

【はっこうしょくひんせいぞう】

7. さかなのすづけは、ないぞうをとりのぞかずにつくる。

○	×
	✓

8. うおしょうゆは、さかなのきんにくやないぞうでつくる。

○	×
✓	

9. うおしょうゆのうまみせいぶんには、あみのさんも
ふくまれる。

○	×
✓	

10. はっこうやじゅくせいするときのおんどはかんりしなくて
よい。

○	×
	✓